

## 照会番号一括登録について

### ■概要

照会番号の一括登録を可能とします。

この処理は移行処理であり、日中の日次業務中には行わないでください。

日レセとオンライン資格確認が接続している環境での作業となります。

(onshi-tools のインストール等)

(又、登録依頼は、翌日以降の反映となる場合もあります)

### ■照会番号一括登録処理の手順

1. 日レセの「13 照会」の「資格照会」を押下することで実行します。  
移行処理のため原則 1 回としますが、2 回目からは確認の上再度実施可能です。

※ 有効な保険を持つ全ての患者情報を対象にしますが、協会等枝番が必要な保険については、枝番まで設定されている患者のみを対象にします

(Q01)患者照会 - 検索条件入力 - ORCAクリニック [ormaster]

検索条件 [ ] 診療年月日 [ ] ~ [ ] 検索結果の表示: 患者情報

基本情報 保険 公費 病名 診療行為 介護 並び順

生年月日 [ ] ~ [ ] 年齢 [ ] 歳 ~ [ ] 歳 (基準日 R 3. 5. 26) 誕生月 [ ] 月 性別 [ ] すべて [ ]

最終受診日 [ ] ~ [ ] ドクター [ ] 入外 [ ] 診療科 [ ]

患者番号 [ ] ~ [ ] 地域連携情報提供 [ ] 死亡区分 [ ]

テスト患者 [ ] a テスト患者を除く [ ]

漢字またはカナ氏名 検索 郵便番号 住所

1	[ ]	1	[ ]	[ ]
2	[ ]	2	[ ]	[ ]
3	[ ]	3	[ ]	[ ]
4	[ ]	4	[ ]	[ ]
5	[ ]	5	[ ]	[ ]

電話番号 [ ] 自宅 [ ]

1	[ ]
2	[ ]
3	[ ]

状態1 状態2 状態3 コメント [ ] 患者コメント [ ]

1	[ ]	1	[ ]	1	[ ]	1	[ ]
2	[ ]	2	[ ]	2	[ ]	2	[ ]
3	[ ]	3	[ ]	3	[ ]	3	[ ]

減免事由 [ ] 低所得者 [ ] 特記事項 [ ] 点数 [ ] 点以上 [ ] 災害該当 [ ]

1 [ ] 2 [ ] 3 [ ]

点検用レセプト [ ]

全てクリア 診療月 条件削除 条件変更 条件保存 条件並替

戻る クリア 診療日 前月 次月 タブ切替 資格照会 検索

2. この処理は、日レセサーバからクライアント側の onshi-tools に一括登録依頼の指示 (push 通知) を行うだけなので、処理はすぐに終了します。(照会番号一括登録処理が開始したかどうかは、onshi-tools のログにより確認してください。)

ログの場所 :

Windows C:/Program Files (x86)/Onshi/log/onshi-shell.log.txt

Ubuntu /var/log/jma-receipt/onshi-shell.log

ログの内容 ReferenceNumber Registration send

3. これ以降は、onshi-tools と日レセ API での通信により照会番号一括登録処理 : 「一括登録用情報取得依頼、一括登録用情報返却」を実施します。(照会番号一括登録処理が終了したかどうかは、onshi-receiver のログにより確認してください。)

ログの場所 :

Windows C:/Program Files (x86)/Onshi/log/onshi-receiver.log.txt

Ubuntu /var/log/jma-receipt/onshi-receiver.log

#### 【重要】

後述する、照会番号一括登録用情報を onshi-tools インストール PC に保存する設定 (**onshi-shell.yml の ref\_dir にパスを記述**)をおこなった場合、手動でオンライン資格確認システムへアップロードするため、onshi-receiver のログは出力されません。

上記 onshi-tools インストール PC に保存する設定をおこなわない場合にのみ、照会番号一括登録用情報は資格確認端末上の [req] フォルダに出力され、自動で一括登録がおこなわれ、正しく動作した場合に下記ログが出力されます。

ログの内容 ReferenceNumber Registration received

4. オンライン資格確認システム(ブラウザ)にログインしてメニューから照会番号一括登録を行うことも可能です。その場合、“日レセオン資格(インストール)”を参考に照会番号一括登録フォルダの設定をして下さい。(ref\_dir にパスを指定しない場合、照会番号一括登録は自動で行います。)

- 4.1 onshi-tools をインストールした PC のローカルに保存する場合(推奨)

設定後手順 1. を実施すると、ref\_dir に記述したフォルダ内に照会番号一括登録用の xml ファイルが生成されます。(設定ファイルで暗号化設定を行っていた場合においても、上記フォルダ内には非暗号化ファイルの xml ファイルが生成されます。)

生成された xml ファイルを (USB 等を用いて) オンライン資格確認システム (ブラウザ) にログインしてメニューからアップロードを行ってください。

#### 4.2 オンライン資格確認端末の共有フォルダに保存する場合

オンライン資格確認端末に照会番号一括登録フォルダ (以下 ref フォルダ) を作成します。C:\OQS の配下に作成して下さい。(例 C:\%OQS%ref)

- ・日レセ環境が Ubuntu の場合

オンライン資格確認システムが提供する「連携アプリケーション導入手順書」を参考に、作成した ref フォルダに対して、共有フォルダの設定を行ってください (連携アプリケーション導入手順書 3.2 共有フォルダの設定)

/etc/fstab を編集します。

共有フォルダ名、ip アドレス、パスワードはセットアップ環境に合わせて設定します。

オンライン資格確認端末の ip アドレスを 172.31.10.1 とします。

```
//172.31.10.1/ref/mnt/onshi/ref cifs
```

```
iocharset=utf8,user=OqsComApp,password=xxxxxx,uid=orca,gid=orca 0 0
```

fstab の反映

```
$ sudo mount -a
```

- ・日レセ環境が Windows の場合

C:\program files (x86)\%Onshi%\onshi-shell\%onshi-shell.yml の設定

PC 名やフォルダ名は環境に合わせて設定します。

```
:ref_dir:          "//hostname/OQS/ref"
```

設定後手順 1. を実施すると、ref\_dir に記述したフォルダ内に照会番号一括登録用の xml ファイルが生成されます。(設定ファイルで暗号化設定を行っていた場合においても、上記フォルダ内には非暗号化ファイルの xml ファイルが生成されます。)

生成された xml ファイルをオンライン資格確認システム (ブラウザ) にログインしてメニューからアップロードを行ってください。

#### ■照会番号一括登録の目的

資格確認システムでは、保険の情報を保有しているのみであって、それぞれの医療機関の患者情報 (患者番号 etc) とは結びついていません。

このことは、顔認証による資格確認を行ってもそれがその医療機関の、どの患者の保険情報かはわからないことを意味しています。

これに対し資格確認システム側では、レセコン等から照会番号を登録することにより、資格確認結果を返却する際に各医療機関の照会番号(日レセの患者番号)の返却が可能となります。

この照会番号を登録することにより、前回受診時と異なる保険となった患者の顔認証資格確認を行った際等、日レセ側でその患者の特定が可能となります。

日々の業務では、この照会番号未登録の患者の登録処理を行いますが、事前に各医療機関の全患者(枝番まで設定してある)の照会番号の登録をすることにより、日々の顔認証資格確認を利用した登録処理等がスムーズに行えるようになります。

※患者番号桁数一括変更時の対応に関して

オンライン資格確認システムへの照会番号として、患者番号を登録していますが、患者番号の桁数を変更した場合、資格確認システムから返却された照会番号で日レセの患者を決定することが出来なくなります。患者番号の桁数を変更された場合は、再度、照会番号一括登録処理を実施してください。